

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	<p>躍進会 戸栗 淳</p>	<p>1. 空き家バンクと農地の活用政策について</p>	<p>(1) 現在、空き家の増加と人口減少、並びに農家及び耕作農地の減少は当市の重要課題の一つであると認識している。 先の「第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」での人口推移の予測は、合併時の約72,000人から2030年には約63,600人、2040年には約57,300人と約14,700人以上の減少が予測されている。 農業においても2000年には農家総数4,940戸、耕地面積2,635haであったのが、2015年には農家総数3,554戸、耕地面積1,656haまで減少している。 この現状に対し、市は歯止めをかけるべく対策としてどのような考えを持っているか。</p> <p>(2) 現在の南アルプス市の空き家バンクの登録数は12件となっているが、過去6年の実績では99件の売買もしくは賃貸契約が成立している。この99件のうち45%は南アルプス市以外の方々であり、人口減少対策にも貢献していると思うが市の見解は。</p> <p>(3) 農地に関しては先ほど述べた通り、農家総数及び耕地面積が減少する非常に厳しい現状を抱えている。 先ほど空き家バンクの成約が99件あったと申し上げたが、成約者の中には農業に取り組みたい、または家庭菜園をしたいと希望を持っている方々も結構いるという話も聞いた。しかし、農業従事者以外が農地を購入する場合には、40a（4反：1,200坪）以上の全農地を耕作していることが判断条件となり、新たに農業を始めたいと思っている者にとって非常に足かせとなっている。この現状に対して、市の見解は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	躍進会 戸栗 淳		(4) 平成21年の農地法改正により、農地法第3条の下限面積の基準については、地域の実情に応じて農業委員会の判断で別段の面積を定めることが可能となり、これを受けて他の一部の市町村においては条例を定め、農地付き空き家住宅対策に取り組んでいる話も聞き及んでいる。当市としても、この取り組みは早急に行うべきと思うが市の考えは。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	公明党 小池伸吾	1. 新型コロナウイルスワクチン接種について	(1) 集団接種、個別接種と、分けての接種となることだが、接種の日程等の予定と接種方法、また、集団接種での3密を避けての停留体制は。
			(2) 冷凍庫の配備と輸送方法は。
			(3) 集団免疫を作るためには、人口の約7割の方に接種をしていただく必要があり、接種人数が少なかった場合、効果が半減してしまうとのことである。国は努力義務としているが、市民に対して接種の勧奨をどう進めるのか。
			(4) 現状2回の接種としているが、2回とも、原則同じ種類のワクチンを接種することになっている。間違いが起きないための対策は万全か。
			(5) 在宅で寝たきりの方など、病院等にも行けない方への対応は、どう考えているか。
		2. 「第2次南アルプス市環境基本計画」について	(1) 「第1次南アルプス市環境基本計画」の検証を踏まえての第2次の計画とあるが、ごみの分別、リサイクル率やごみの量について十分な検証はなされたのか。
			(2) 資源回収センターの利用状況とさらなる利用促進への取り組みは。
			(3) 計画の中にリユースステーションの設置を検討とあるが、今後の予定は。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	公明党 小池伸吾		(4) 小中学校における環境教育の現状と、今後の方針は。 <hr data-bbox="778 517 1422 521"/> (5) ごみゼロに向けての今後の取り組みは。

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	南風 櫻田 力	1. 第2次南アルプス市環境基本計画の推進と目標達成に向けての取り組みについて	<p>(1) 本計画書には、本市の望ましい環境像と位置付ける基本目標が12、それを実現するための基本施策が37項目、更に市民、事業者、行政の3者の役割となる環境配慮行動が74項目示されており、計画の推進体制が第6章に示されているが、CO2の排出量に対し、個々の施策により吸収・除去量がどのように変化しカーボンニュートラルを実現できるのか、その全体像が見えてこない。具体的に、どのような取り組みでどれほどの削減を目指して目標を達成しようとしているのか。</p> <p>(2) 地球の温暖化対策の一つとして、小水力発電の導入が有効とされ、具体的な事業内容として金山沢川水力発電所の効率化や小規模電力の活用を目指す研究を行うことが示されている。南アルプスを背にした本市西部地域の急峻な地形と豊かな水を資源とした小水力発電の導入は、温暖化対策のみならず災害時の地域電力の確保にも有効であり、新たな導入に向けた具体策を研究すべきと考えるが、市の見解は。</p> <p>(3) 環境の将来像を実現する計画の推進体制の中で、チェック機能を果たす「市環境審議会」の役割は、この計画を実現するにあたりその重要性が更に増すと考えられる。チェック機能の強化を目指し、環境審議会のあり方を見直すべきと考えるが、市の見解は。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>1. 国民健康保険税 について</p>	<p>(1) コロナ禍の下、国民健康保険税の減免措置や傷病手当金支給の状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 山梨県から示された令和3年度の納付金額は県内ほとんどの市町村が前年比減額となっており、本市も例外ではない。さらに基金も活用することで、次年度の国保税は値下げできる条件が十分にあると考えるが、市の考えは。</p>
		<p>2. 市の検診事業について</p>	<p>市は人間ドック検診料の助成に含まれていた前立腺がん検診を、令和2年度からオプションの一部助成に変更したことで、自己負担が生じるようになった。また、子宮頸がん検診を、令和3年度からこれまでの毎年から2年に1回の助成に変更する方針である。いずれも早期発見、早期治療を推奨するためには、従前の検診・助成方法とすることが必要と考えるが、市の考えは。</p>
		<p>3. 公共交通の充実について</p>	<p>本市の公共交通の要となっているコミュニティバスについて、市は利用者数が増えていることから「基盤は築けた」との見解だが、路線ごとの利用者数にアンバランスがあるなど課題も多い。今後、公共交通をさらに充実させる上では、コミュニティバスに加えてデマンド型の交通システムを導入すべきと考えるが、市の考えは。</p>
		<p>4. 核兵器禁止条約について</p>	<p>今年1月22日、人類史上はじめて核兵器を違法とする『核兵器禁止条約』が発効した。核兵器廃絶平和都市の長としての金丸市長の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	新政南アルプス 村松三千雄	1. 南アルプスインターチェンジ周辺開発への取り組みについて	<p>第2次南アルプス市総合計画・後期基本計画では、インターチェンジ周辺を、「新たな雇用の創出や地域経済を牽引する産業の集積を図り、交通環境を活かした新産業拠点を創出する」と明記している。これを踏まえて。</p> <p>(1) 南アルプスインターチェンジ周辺は、地域未来投資促進法に基づき、令和元年9月に「やまなし未来物流等推進計画」で重点促進区域に設定され、さらに、令和2年6月には「やまなし未来ものづくり推進計画」でも、重点促進区域に位置付けられたが、これらの計画を踏まえて具体的にどのような姿勢で取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 南アルプスインターチェンジ周辺用地(50ha～60ha)の開発可能性の調査研究を行い、高度活用が可能な範囲を洗い出すことを目的に、昨年4月より専門部署を設置し、インターチェンジ周辺の開発可能性調査に着手しているが、調査研究の進捗はどのようなになっているか。</p> <p>(3) 新たな企業誘致の推進については、既存工業団地の規模拡大整備により、進出・規模拡大を考える企業の需要に応えることも必要と考えるが、市の考えは。</p>
		2. 交流人口増に向けた更なる観光促進戦略について	<p>本市では地域資源を活かした観光振興に取り組む、令和2年度より「観光プロモーション事業」を展開しており、会派としても施策を提言してきた。</p> <p>(1) 観光プロモーション事業は、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、東海圏を中心に活動を展開していると認識しているが、今後、ウイズコロナによる新しい生活様式を踏まえた、新たなスタイルの観光プランを、どのように展開していくのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	新政南アルプス 村松三千雄		<p>(2) 県が令和2年3月に制定した「南アルプス観光ビジョン」の目指すべき姿は、『世界中の人々が何度も訪れたいと思えるグレードの高い南アルプス観光の確立』となっている。市はこのような県の取り組みを踏まえ、インバウンド観光の推進にどのような姿勢で臨むのか。</p> <p>(3) 令和2年5月に「文化観光推進法」が施行され、文化財継承と観光振興を両輪として、地域活性化を推進するとした。本市も、南アルプスユネスコエコパークを核として、地域が有する自然、歴史、文化、産業を連携させ、更なる観光のグレードアップを図る必要があると考えるが、市の考えは。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	<p>躍進会 野中国幹</p>	<p>1. 農業政策について</p>	<p>(1) 遊休農地整地費用の助成について</p> <p>近年、遊休農地の増大は目を覆うほどの勢いであり、こうした状況下から地域住民の中で、遊休農地の減少対策に取り掛かる動きが表れている。この対策については、既に市農業委員会による調査・協議が行われているところであるが、減少傾向には至っていないのが実情である。こうしたことから、地域独自で減少対策に乗り出す考えであり、地域の組織づくりを立ち上げる準備が進められている。そこで、このような取り組みには必然的に農地の整備費用が発生し、農地として利活用するための諸費用が必要である。ついては、これらにかかる費用に対して市からの助成はできないか。市の見解は。</p> <p>(2) 果樹等の剪定枝の除去について</p> <p>農家の皆さんが、果樹の剪定枝を野焼き等で焼却しているのが現状であるが、果樹の老木等で大木となっている木の焼却は、火の炎が大きくなり危険が伴うことから、畑の周辺に野積みとされている状態である。これを解消するためには、産業廃棄物工場等に運び込まなければならないため、費用もかかり農家の方には大きな負担となっている。農家の皆さんの軽減を図る一方CO2対策にも軽減できることから、費用負担の助成はできないか、市の見解は。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	公明党 齊藤博明	1. 「シティプロモーション戦略」に示された疑問と矛盾について	<p>(1) 「売る商品が定かでないのに、どうして営業活動をするの？」 「ユネスコエコパーク」や「ふるさと〇〇博物館」などのこれまでの事業実績を何ら語ることもなく、執行部の熱意も思考も届かない説明には失望を感じる。 これでは「シティプロモーション」が目的化していると言わざるを得ない。「何を」売るかの本質である、市の明確なビジョンが欠如していることを、改めて指摘しなければならない。市の見解は。</p> <p>(2) 「この事業は、何時まで続くの？」 予算書を見る限り、この事業に関連する内容は複数部署に渡っていることが見て取れる。全体の内容、スケジュール、費用、費用対効果も全く見えてこないのが実情である。評価を経ての勝算も含め、はたして何年計画の事業になるのか。</p> <p>(3) 「何故、この時期に始めなければならないの？」 コロナ禍のさなか、市民一人ひとりの生命と生活を守るために、国も地方もその終息への舵取りに最大の努力を重ねているのが現状である。ワクチン接種が始まり、人類はこれからどの方向を示し、いかなる勢いで進まなければならないかを選択する、大切な岐路に差し掛かろうとしている。今この時に、巨額の予算を投じて始めなければならない事業であるか否かを示されたい。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	南風 藤田亜由未	1. ICT教育の進捗状況と新年度からの新たな対応について	(1) 4月から始まる「ICT教育」について、生徒や保護者への詳しい内容の説明状況や、新年度からのカリキュラムのスケジュール等の組立についての進捗状況は。
		(2) 市内における、学校に行かない行けない子どもたちへ向けての対応とタブレット端末の活用方法は。	
		2. 男女共同参画推進の取り組みについて	「女性活躍の推進」について、地方自治体の管理的地位に占める割合の目安20%に対し、当市の女性職員における管理職の女性登用の割合が低いと感じられるが、現在取り組んでいる具体的な内容とその成果は。
		3. シティプロモーションの進捗状況について	(1) 昨今の人口減少に歯止めをかけるべく、今年度から新たにスタートした「シティプロモーション」事業であるが、現段階での進捗状況は。
		(2) HPに掲載されている「後期基本計画策定のための市民アンケート調査報告書」の中で、「まちづくりへの関心」は54.3%あるのに対し、「協働のまちづくりへの理解」は12.4%と大きく開きがある。本事業に関しては、市民への理解や協力が不可欠であり、今まで以上に「自分のまちへの興味・関心」を持ち、市民自らが情報発信をすることで相乗効果があると考えるが、当局はこの数字の開きをどのように受け止めているか。また、その改善への具体的な取り組みは。	

令和3年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	南風 三枝守和	1. 指定避難所の安全性について	八田小学校体育館の外装の硝子窓が強化ガラスではなく、地震がきた場合に割れる恐れがあり、安全性が確保されていない。指定避難所の安全対策について市の考えは。
		2. 旧八田支所の跡地について	長い間、更地になっているが、今後の土地利用について市の考えは。

令和3年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	未来創政の会 矢崎俊秀	1. 自主財源確保対策について	<p>(1) 市は昨年の9月議会において、自主財源比率を高める必要があるとの認識を示している。そこで、自主財源比率を高める税収ビジョンをどのように考えているのか。</p>
		<p>(2) 税収を上げるための企業立地を対象としている区域及び面積等は。</p>	
		<p>(3) 住宅宅地の開発は、そのほとんど全てが民間開発に依存しているが、平成28年から令和元年の4年間で、建売分譲と宅地分譲は525区画に及んでいる。3人居住で算定すると1,575人が居住して税収等に多大な貢献をしているがどのような評価にあるのか。</p>	
		<p>(4) 自主財源確保を図るため、政策空き家にある市営団地の土地活用をどのように進めるのか。</p>	
		2. 建築設計業務委託について	<p>(1) 建築設計業務委託の競争入札について、最低制限価格の取り扱いはどのようにあるのか。</p>
		<p>(2) 八田児童クラブ新築事業における建築設計業務はどこが所掌したのか、また、適切な市有財産のための建築設計図書として必要な審査が実施できたのか。</p>	
		<p>(3) 議員サイドからその都度、建築技術者の新採用による適正配置を要請してきたが実現に至っていない。職員採用の募集をかけても応募がないことも承知しているが待遇面の配慮が必要である。笛吹市等では県庁に在職した建築設計の有資格者のOBを再雇用として、適切な建築設計及び工事監理としているが本市でも山梨県に協力要請する考えはないか。</p>	

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野昇平</p>	<p>1. 介護保険制度について</p>	<p>(1) 昨年の1、2月に読売新聞が106自治体を対象に行ったアンケートでは、9割の自治体が介護保険制度を今後維持するのは「困難」と回答した。安心できる介護保険制度を維持し、介護受給権の侵害を食い止めるためには、国に対して、抜本的な介護報酬の引き上げを求めるとともに、市としても、拙速な総合事業の拡大は控えるべきと考えるが、市の所見は。</p> <p>(2) 介護保険制度を今後維持するのは「困難」と回答した理由の1位は、「人材や事業所の不足」（74%）だった。介護職は、生身の人間と向き合い、利用者本人だけでなく、家族や友人も含めて、一から関係を構築するかけがえのない仕事である。市として、「人材や事業所の不足」をいかに打開していくのか、また、新型コロナ禍において、多くの介護事業所が大幅な減収になっているもとでは、一定の減収補填が必要と考えるが、市の見解は。</p>
		<p>2. 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）について</p>	<p>市民サービス向上や新たな市民サービスの創出を念頭にしたデジタル変革推進のために、自治体DX推進ガイドラインがある。市として、自治体DXをどのように評価し、位置付けているか。</p>
		<p>3. 空き家対策について</p>	<p>平成30年の総務省住宅土地統計調査によると、市内の空き家はさらに増加している。一方で、空き家管理業務のような取り組みも始まっている。これまでも、空き家対策を議会質問で取り上げてきたが、市として、現状をどう捉え、打開していく考えか。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	新政南アルプス 飯野多恵子	1. 多様性社会の構築に向けた取り組み・環境整備について	<p>(1) 男女共同参画都市の推進として、行政機関・審議会等への女性の登用について市の考えは。</p> <p>(2) 多文化共生社会への環境整備として、外国籍の方々が、安心して暮らしていける情報の提供や環境づくりが必要と考えるが、多文化共生に対し市の考えは。</p>
		2. 若草保育所移転新築に伴う駐車場整備について	<p>老朽化している若草保育所の移転新築が計画されている。この予定地には隣接して、若草生涯学習センター、弓道場、卓球場、体育館、グラウンドがあり、道路を隔てて若草小学校、若草中学校がある。このような中、現状でも駐車場に関して駐車するところがないとの声が多く寄せられている。新築を機会に周辺公共施設の駐車場整備についての考えは。</p>

令和3年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	新政南アルプス 保坂 健	1. 横川流域水害対策について	(1) 国土強靱化地域計画として、横川樋門の改修は国、県との連携のもと進められている所であるが、市の横川流域支線排水路の整備、流域治水の推進にどのように取り組んでいくのか。
			(2) 大雨災害拡大防止のための国土交通省排水ポンプ車出動要請はどのように考えているか。
		2. 特定外来種のアライグマ対策について	(1) 生息域の拡大と、増殖原因をどのように考えているか。
			(2) 危険性の啓発をどう講じていくのか。
			(3) 児童・生徒への危険性教育について考えているか。
		3. ゴミ集積所への不法投棄対策について	(1) 不法投棄の実態把握はどのようにとらえているのか。
			(2) その対策はどう考えているのか。
			(3) 児童・生徒へのゴミに関する環境教育への取り組みはどのように考えているのか。

令和3年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
16	小林敏徳	1. 旧完熟農園について	<p>昨年の12月議会では、地権者113名である。また、縁辺部の地権者5名とは土地交渉を行っている段階で、契約はしていないので地代を支払っていない。との答弁でした。</p> <p>現時点で契約を結んでいないのであれば、縁辺部の地権者5名の方との交渉は打ち切るべきだと考えるが、市の見解は。</p>
		2. スーパーシティ構想について	<p>2月5日に「南アルプス市シティープロモーション戦略骨子」の説明を(株)トラベルジップより受けた。市の魅力を県内外にアピールする事が目的の内容である。ならば、今、内閣地方創生推進事務局が国家戦略特区として進めている「スーパーシティ構想」に参加すべきだと思うが、その考えはあるか。</p>
		3. 損害賠償(住民訴訟)について	<p>損害賠償(住民訴訟)請求が甲府地方裁判所で受理されました。これに対して市の所見は。</p>